



“ほっと”なネットワーク

かんちゃん通信

秋の空 さわやか号

第25号

2025年10月25日発行

子どもをまんやかに 地域のだれもが

Well-being につながる居場所に

かんちゃんホットルーム 思いを込めて90回

この春からの様子を2～4ページで紹介しています

「人がやさしい」「ごはんがおいしい」「初めての人でもなかよくなれちゃう」「子どものことをよく考えてくれている」(「子どもたちの感想」より【8月】)



輪っかで輪になる 和コミュニケーション・・・大きな一つの輪で心地よい揺らぎを体感しました♪
身をゆだねることで、心と身体が緩みますね♪
【8月】[4ページを見てね]



お昼タイム 【4月】

これからの予定だよ よろしくネ♪

	開催月日	内 容
91回	11月22日 (土)	中国のお話と、粉をこねて皮を・・・ “ギョーザ餅(もち)”を作ろう会♪
92回	12月13日 (土)	特別企画:人形劇団京芸公演 『まんてんげきじょう』
93回	1月24日 (土)	かんちゃんあそび村 パート13
94回	3月21日 (土)	(兼)第8回人権・多文化共生 フェスタ in あづち

この春、4月からの「かんちゃんの小さな家」の利用者さん(学習ルーム・相談ルーム等)や訪問者さんは、のべ188人でした。(9月末現在) これからもお気軽にご利用ください。[5ページに続く]

2014年12月 第1回は 親子でパン作り

◇今年の9月の「あそび村」が、90回目の
かんちゃんホットルームでした！

◇ふり返ってみると、今から11年前の12月、「かんちゃんの小さな家」のデッキとプレハブで、親子13人が集まって、パンダのパンを作ったり楽しくおしゃべりしたり・・・その日が始まりでした。



◇当時、参加していた子どもたちのなかには、20歳前後のお兄さん、お姉さんになっている人も！

◇最近では、参加された方からも、「ええっ、そんなに長く続けているの！」という驚きの声が聞かれます。

今回は、今年の春からの様子を紹介します。



フェルトクラフト

羊さんの毛で “模様のある小さなマット”
を作りました♪



今年も、地元在住の三木勇雄さんに教えていただきました。ありがとうございました。

ポリシートの上に四角い羊毛シートを置きます。そこに石けん水をかけます。そこからスタートしました♪



♥子どもたちの生き生きした姿と笑顔に、本当に楽しみにして参加しているんだなーって感じました。(民生・児童委員さん)

私たちの居場所 春から夏

回・月	内 容
第86回 4月	フェルトクラフト（羊の毛で小さなマットを作ろう） 参加者34人 お昼 筑前煮・おにぎり・トマト
第87回 5月	ワークショップ「言葉がわからない所で地震にあったら」体験ゲーム（震災編）お昼 カレー・ゼリー 参加者38人
6月	お休み月
第88回 7月	消しゴムはんこ作って押して～うちにポン～ 参加者43人 お昼：十六穀米・ハヤシライス
第89回 8月	バケツドラムを作ってリズムあそび和（輪）コミュニケーション 参加者28人 お昼：焼きそば、他
第90回 9月	あそび村（パート12） 参加者 29人 お昼：ロコモコ丼
会場：安土コミュニティセンター 開催時間：10:30～13:00	



ワークショップ 「言葉がわからない」 体験ゲーム(震災編)

「こまった時は、おたがいさまで、
助けあえるといいなと思います。」



- ♥ ペットボトルの水、飲めるのかわからなくて、とても不安だった。(避難所のペットボトルのラベルが知らないことばで書いてあった)
- ♥ 言葉がわからないと、何がおこっているのかわからない。こわいなあと感じました。
- ♥ 英語がわからなかったけど、みんなで力を合わせればわかってきて、楽しくなってきた。
- ♥ 日本に住んでいる外国の方は、緊急時は慣れない言葉ばかりですごく不安で大変だろうと思いました。



もしも、ことばがわからないところで、大地震にあったらどうなるだろう・・・をワークショップで体験しました。いろんな国のことばに出会ったり、外国の人と言葉以外にどんなコミュニケーションをとる方法があるのかを一緒に考えたりしました。

ファシリテーターの大森容子さん(滋賀県国際協会)、ゲストのジエゴ デ ソウザさん(ブラジル)・クリス ブリッキーさん(アメリカ)(滋賀県国際交流員)、そしてサポーターの皆さん、貴重な体験をありがとうございました。

- ♥ 貴重な機会でした。特に、子どもたちの純粋でフレンドリーな接し方を通じて、国籍を問わずみんなが助け合う、もっと輝く未来を築けるのではないかと、という希望を強く感じました。(ジエゴさん)



- ♥ 子どもたち(おとなの方も)、みんなとても好意的で、楽しい時間を過ごせました。防災と安全も重要なテーマです。このような魅力的な雰囲気を提供できたことをうれしく思います。昼食もとてもおいしかったです。(クリスさん)



消しゴムはんこ 作って♪押して♪

「自分の作ったはんこで
うちわにおしたら、
きれいなもようができました。
うれしかった。」



アドバイザーの伊藤真希さん(長浜市)。早いもので今回で7回目になります。毎年、ありがとうございます♪

- ♥ めちゃくちゃ楽しかったです！どうしたらうまく彫れるかを考えながら、その方法を試しながら彫ってみました。そうしているうちにどんどん夢中になっていました。

- ♥ ほるのがむずかしかったです。でも、どんどんなれてきて、うまくできました。
- ♥ 今日で4回目です。自分のハンコを作れるのが楽しいです。





楽しかった！気もちよかった！
からだ
身体全体が自然に動きだしたね♪

和コミュニケーション& バケツドラム (作ったり たたいたり)



夏休み最後の週末は、ファシリテーターの西川修平さん（市内在住）の“熱のこもった”リードで、楽しいワークショップを体験しました。（1ページにも写真があります）夏休みの良い思い出ができましたね♪

- ♥ いつも家でゲームをしていたけど、知らない友だちとのコミュニケーションがとれた気がした。
- ♥ ゴミ箱とテープだけで たいこができるなんてしらなかったのびっくりしました。リズムあそびが楽しかったです。家でも作りたいです。ごはんもおいしかったです。

- ♥ 夏休みの最後に、子どもとゆっくり一緒に遊べて癒しの時間でした。
- ♥ 自分のオリジナル楽器を作ることが楽しくなり、できあがったもので演奏するのも楽しくなるので、人とのつながりもできるんだなあと思いました。

かんちゃんあそび村 (パート12)



つまめ！ピンポン玉

今回は、20のコーナー・・・人気のエアーサッカーが復活！参加者とボランティアの皆さん・・・笑顔につつまれ、会場はホットな雰囲気♪
お昼は、「ロコモコ丼」ホテルニューオウミさん特製で、とてもおいしかったです。ありがとうございました。



- ♥ けんだま、おりがみ、エアーサッカー、おてだまなど、いろいろたのしかった。
- ♥ やったことのない遊びができて楽しかったです。
- ♥ いろいろなあそびをおしえてもらってたのしかったです。



シャッフルボード



「チャレンジカード」の裏面には、遊んだコーナーにシールを貼って、自分の記録を残します。

「ちょっと質問・・・かんちゃんホットルームのいいところって？」のコーナー
(1ページは、子どもたちの声・・・ここでは保護者さんの声を紹介します。)

どの企画も興味深くて楽しいです。スタッフの方々が親切です。／普段は、家族だけで遊ぶから、他の学年の子どもたちと遊べる場所。／年齢を超えて、いろんな人とふれあえるのが楽しいです。／初めて出会った人たちと、すぐに和やかな感じになるところが素晴らしいです。／ごはんがおいしいです。



『kancyan-house』 2025

ともに歩んでいます♪
地元や市内・外の皆さんとつながりあって



この春、4月から『kancyan-house (かんちゃんの小さな家)』に来られた方は、188人でした。(子ども・若者の相談や学習教室、保護者さん、対人援助にかかわる方々の相談や研修会、様々な打ち合わせ会など〔9月末現在〕)

今まで何人の方が・・・と、あまり意識したことがなかったのですが、これからも多くの方々との出会いとつながりの場になればと思っています。

また、6月には、笠縫東学区(草津市)の民生委員・児童委員の皆さんが、マイクロバスで1時間近くかけてフィールドワーク(研修会)に来られました。人数の関係で地域の集会所に移動して、「かんちゃんの小さな家」の活動や子ども支援にかかわる思いを紹介しました。↗

♪「いろんな立場の方が集まって、継続して活動していることに驚きました。」「常にかんちゃんの小さな家があるということ、いつでも帰ってこれるということ、安心できる場所があるということ、これが子どもや若者にとって一番大事ですね。」など、参加された方から貴重な感想をいただきました。

活動を通して、市外の方々とともにつながっていける機会を、とてもうれしく思っています。



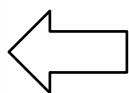
「かんちゃんの小さな家」載ってるよ♪

『安土くらし応援マップ』

安土学区の社会資源 約70か所がマップに!



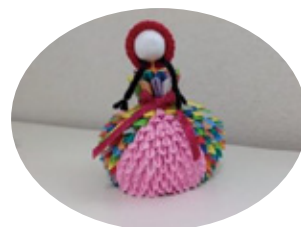
「安土学区にはたくさんの資源がある。でも、どこにどんな資源があるかわからない。」「お互いの活動を知ることができれば、一緒に取り組めることがあるはず。」という思いが、マップ作りの始まりとのこと。安土学区・近江八幡市の社会福祉協議会によって作られました。これからの活用が期待が寄せられています。



「kancyan-house」のボードでマップを紹介しています。左の写真は、7月初めの頃のボードで、学習教室に来ている子どもたちが、「七夕飾り」を作って飾りました。ボードの右上のかわいい人形は、ブラジルのお人形に似ていませんか?

「kancyan-house」より

左は、ホワイトボードに毎月、描いてくれているイラストです。一つひとつに意味があるんですって♪ 右は、折り紙で作った作品です。96才のおばあさんが作ってくれました。お近くの方、一度見てね♪



“ちょっと おしゃべりをする” という気持ちでご利用ください♪

子育てのこと・学校生活のこと・卒業後のことなど

何か困ったこと、気になること・・・お気軽に「かんちゃん相談ルーム」へ

相談ルームのご案内

相談スタッフ

かんちゃん（かんちゃんの小さな家代表
・社会福祉士・スクールソーシャルワーカー）
まりこさん（親子をつなぐ学びのスペース
・リレイト代表：京都市）

- ◇相談は、予約制です。
- ◇保護者・支援の方の相談も可
- ◇お問い合わせ先（かんちゃんの
小さな家携帯090-3708-3315）

学びのご案内

主催：スクールソーシャルワーク研究会しが

子ども支援（ケース）学習会

第79回学習会 12月14日（日）



- ◇会場 かんちゃんの小さな家
- ◇時間 10:00～12:00
- ◇事前の申し込みが必要です

SSWしが12月研修会

12月6日（土）13:30～16:00

場所：G-NETしが（研修室A）

近江八幡市鷹飼町80-4

※案内のチラシは、「かんちゃんの小さな家」の
ホームページからダウンロードできます。

2025年度

入会 よろしくお願ひします

「かんちゃんの小さな家 友の会」

個人会員 1口2,500円・団体会員 1口10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座

振込先銀行 滋賀銀行 安土支店

口座種別 普通 口座番号 403489

口座名称 かんちゃんの小さな家

交流会のご案内

第91回かんちゃんホットルーム

主催 かんちゃんの小さな家

共催 安土学区まちづくり協議会

11月22日（土）

10:30～13:00

会場：安土コミュニティセンター

参加費：子ども100円・おとな300円

内容：中国のお話と手作りの
“ギョーザ餅”を作ろう♪

◇お昼は、“ギョーザ餅”とおにぎり

第92回かんちゃんホットルーム

12月13日（土）

10:30～12:15

プロの人形劇をぜひこの機会に♪

人形劇団京芸公演

『まんてんげきじょう』

～ねずみのおんがくかい

・ぶんぶくちゃがま～

◇チラシ・ホームページを見てね♪



せせらぎ（編集後記）

◇「常にかんちゃんの小さな家があるということ、いつでも帰ってこれるということ、安心できる場所があるということ、これが子どもや若者にとって一番大事ですね。」（5ページ）
◇6月にフィールドワークで来られた民生・児童委員さんの感想に、あらためて10年を超える活動の原点にふれさせてもらった思いです。
◇「子どもをまんやかに、地域のだれもがWell-beingにつながる居場所に」・・・これからも、“ともに”よろしくお願いします。（か）

「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

<https://kancyan-house.com/>

※次号「第26号」は、4月の発行予定です。



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2

携帯 090-3708-3315（代表 佐子）FAX 0748-46-3283

e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

